2016年6月期　第2四半期

決算説明会

2016/02/22

構造計画研究所
KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc.

目次

1．決算の概要 ･････････････ 3

2．セグメント別状況 ･････････････16

3．2016年6月期見通し ･････････････21

4．中長期的視野に立った経営方針 ･････････････32

【本資料についてのご注意】

・本資料の記載金額は原則、百万円未満を切り捨てて表示しております。
・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
・本資料に記載されている会社名、システム名、製品名は、一般に株式会社構造計画研究所ならびに各社の商標または登録商標です。

Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

1

決算の概要

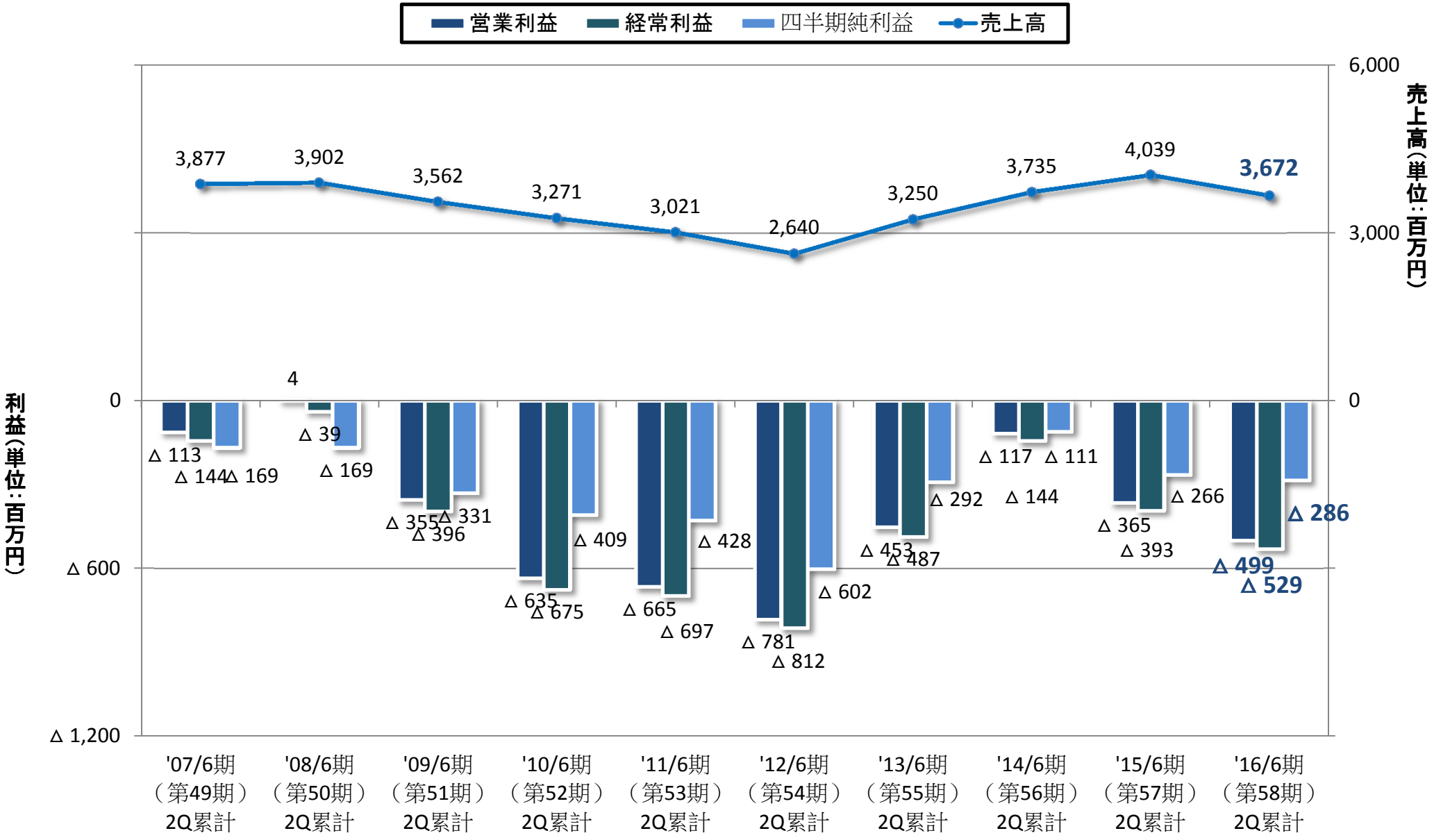
売上高、利益ともに減少しているものの、受注残高は過去最高

（単位：百万円）

	’15/06期2Q累計	’16/06期2Q累計	対前年同期増減額（増減率）
売上高	4,039	3,672	△367 (△9.1%)
営業利益（△損失）	△365	△499	△133 (－)
経常利益（△損失）	△393	△529	△135 (－)
四半期純利益（△損失）	△266	△286	△19 (－)
受注残高	5,923	6,721	798 (13.5%)

Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

第2四半期累計期間の業績推移



Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

売上高および利益減少の主な要因

季節変動

- 多くの顧客が決算期を迎える3月末から6月末にかけて成果品の引き渡しが集中

➡第2四半期累計期間に占める売上高の割合が低い水準となる傾向

工事進行基準適用対象案件の減少

- システム開発業務においてより高い顧客満足度を追求し、
顧客の課題を的確に捉えたエンジニアリングコンサルティングを実施するため、
要求定義や設計工程終了時まで工事収益総額を確定することが困難

➡ 工事進行基準の適用対象となる案件が減少し、工事完成基準となる
工事進行基準による売上高が減少

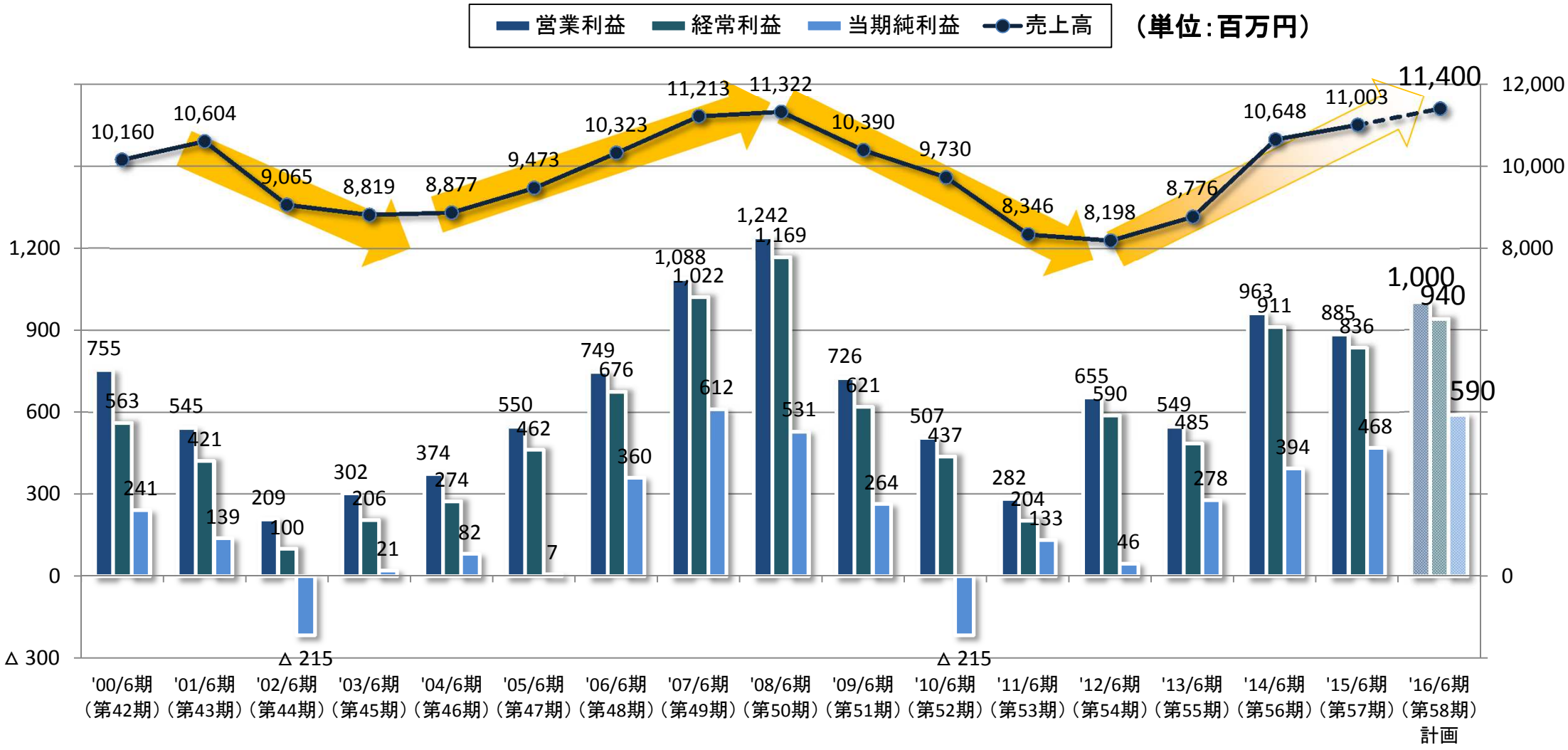
販売管理費の増加

- 顧客の課題を的確に抽出し総合的な解決策を提案するためマーケティング活動を強化
- 将来を見据えた投資を行うための事業開発費が増加

**豊富な受注残高の大半が今期中に売上として計上予定であり
事業活動は順調に推移**

Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

上場以来の通期の業績と今期の計画



Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

‘16/6　第2四半期　損益計算書ハイライト

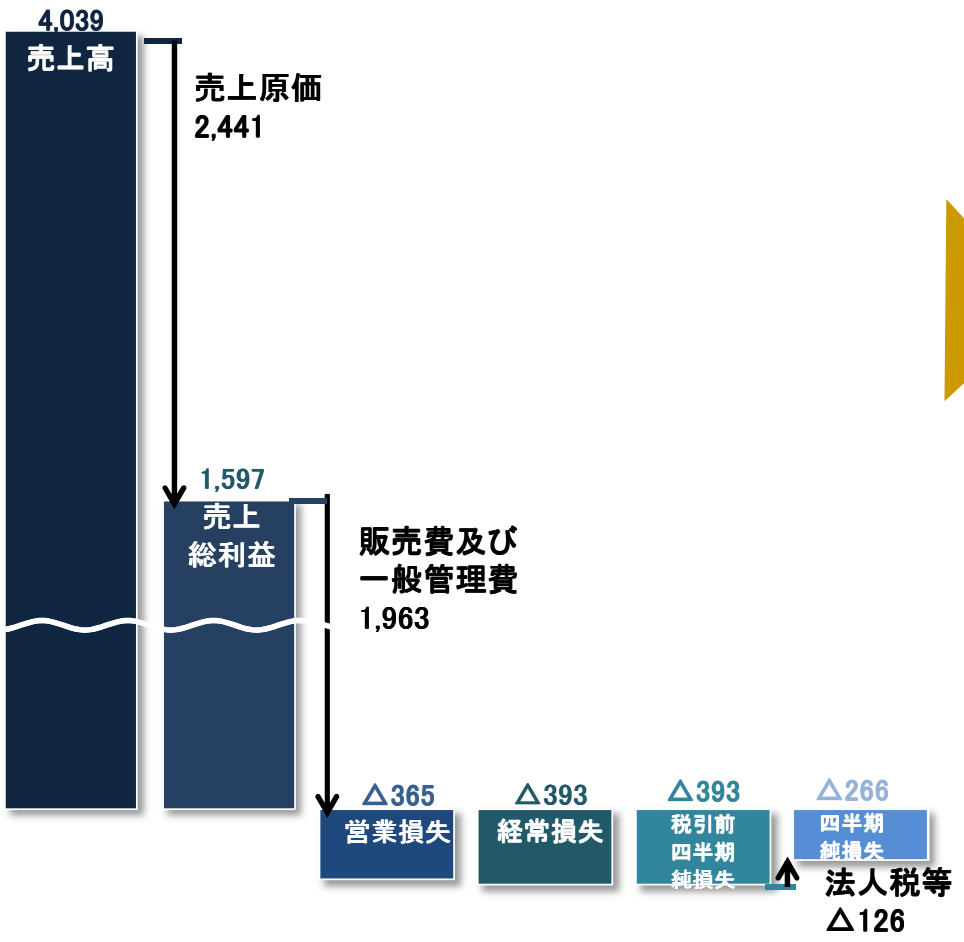
（単位：百万円）

	’15/6期（第57期）2Q累計	’16/6期（第58期）2Q累計	対前年同期増減額
売上高	4,039	3,672	△367
売上原価	2,441	2,083	△358
売上総利益 （売上総利益率）	1,597 （39.5%）	1,588 （43.3 %）	△9
販売費及び一般管理費	1,963	2,087	124
営業利益（△損失） （営業利益率）	△365 （△9.1%）	△499 （△13.6%）	△133
営業外損益	△27	△30	△2
経常利益（△損失） （経常利益率）	△393 （△9.7%）	△529 （△14.4%）	△135
特別損益	△0	2	2
税引前四半期純利益（△損失）	△393	△526	△133
法人税等	△126	△240	△113
四半期純利益（△損失） （四半期純利益率）	△266 （△6.6%）	△286 （△7.8%）	△19

Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

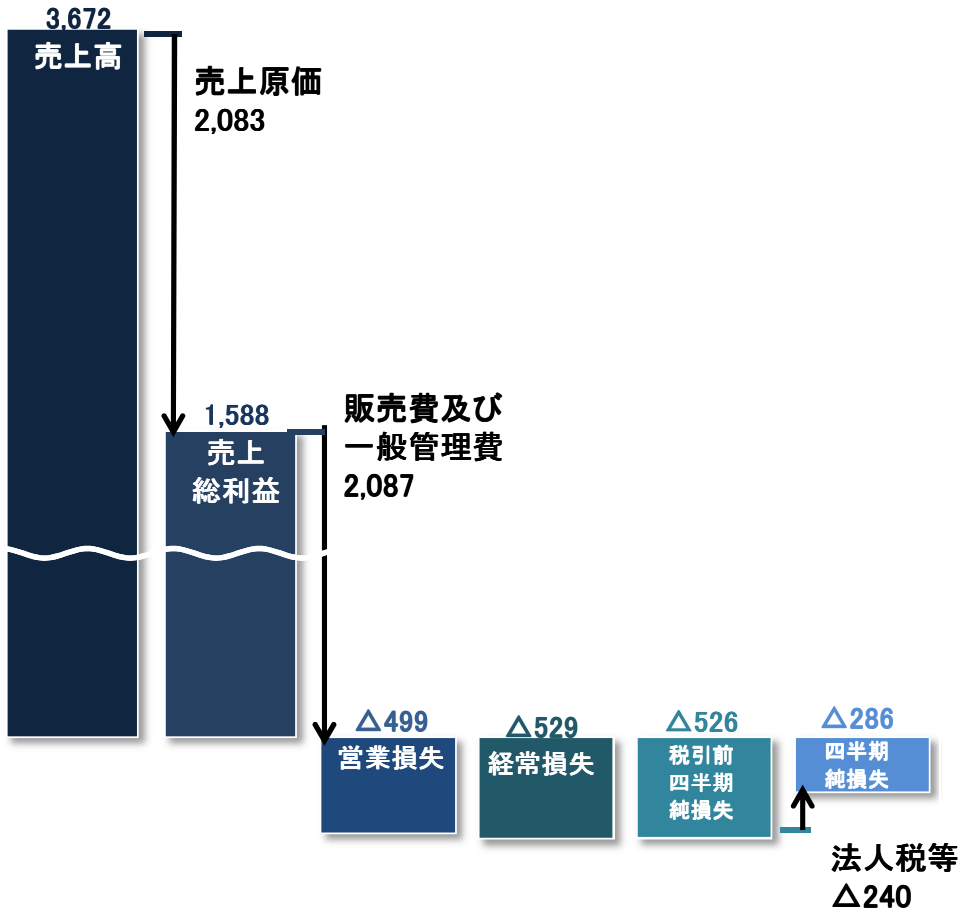
‘16/6　第2四半期　損益の状況

2015年6月期（第57期）2Q累計



2016年6月期（第58期）2Q累計

（単位：百万円）



Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

‘16/6　第2四半期　貸借対照表ハイライト

（単位：百万円）

	’15/6期（第57期）2Q	’16/6期（第58期）2Q	増減額
流動資産合計	3,414	4,462	1,047
現金・預金	306	683	376
受取手形及び売掛金	1,316	1,553	237
仕掛品	895	1,280	385
固定資産合計	6,613	6,726	113
有形固定資産	5,093	5,055	△38
無形固定資産	329	294	△35
資産合計	10,027	11,189	1,161

	’15/6期（第57期）2Q	’16/6期（第58期）2Q	増減額
負債合計	7,735	8,472	736
流動負債	5,780	5,564	△215
短期借入金※	3,620	3,410	△210
前受金	969	1,027	58
固定負債	1,955	2,907	952
長期借入金	232	1,072	840
純資産合計	2,291	2,716	424
負債・純資産合計	10,027	11,189	1,161

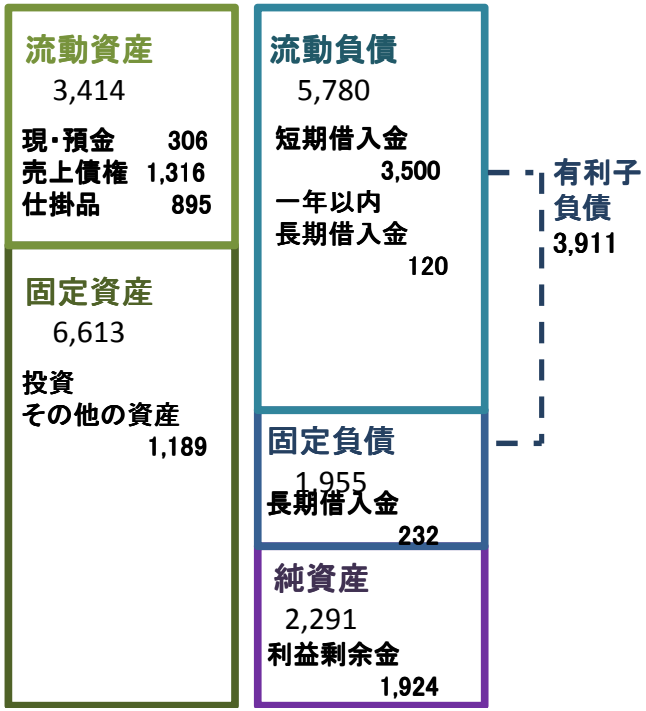
※「1年内返済予定の長期借入金」は短期借入金に含めて計算しております。

Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

‘16/6　第2四半期　財政の状況

2015年6月期（第57期）2QB/S

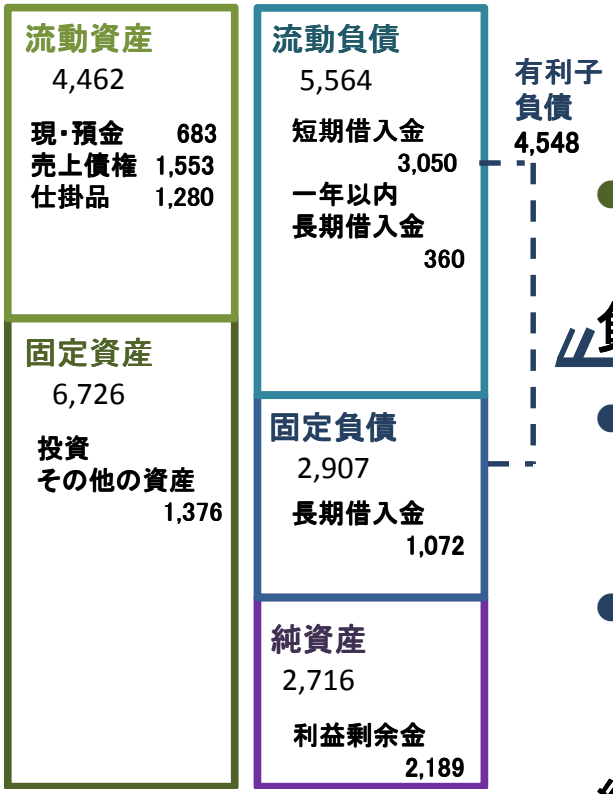
総資産：10,027
負債＋純資産：10,027

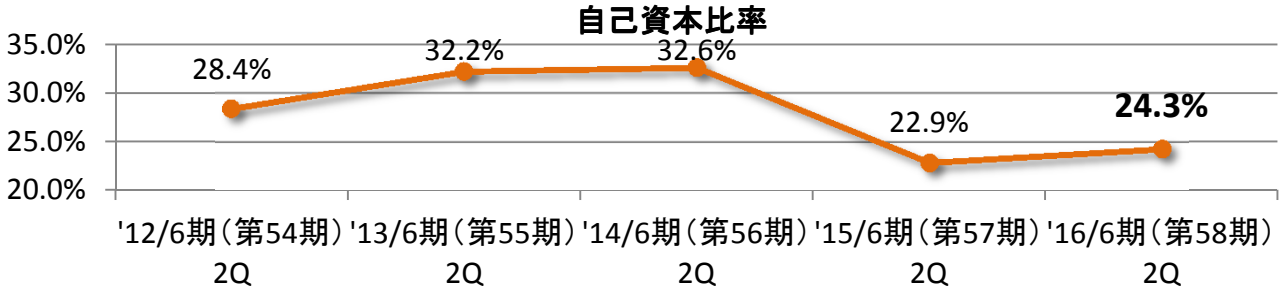


2016年6月期（第58期）2QB/S

総資産：11,189
負債＋純資産：11,189

（単位：百万円）





資産の変化（1,161百万円）

- **流動資産の増加（1,047百万円）**
  - 現金及び預金の増加（376百万円）
  - 売上債権の増加（237百万円）
  - 仕掛品の増加（385百万円）
- **固定資産の増加（113百万円）**
  - 投資その他の資産の増加（187百万円）

負債の変化（736百万円）

- **流動負債の減少（△215百万円）**
  - 短期借入金の減少（△450百万円）
  - 一年以内長期借入金の増加（240百万円）
- **固定負債の増加（952百万円）**
  - 長期借入金の増加（840百万円）
  - 退職給付引当金の増加（91百万円）

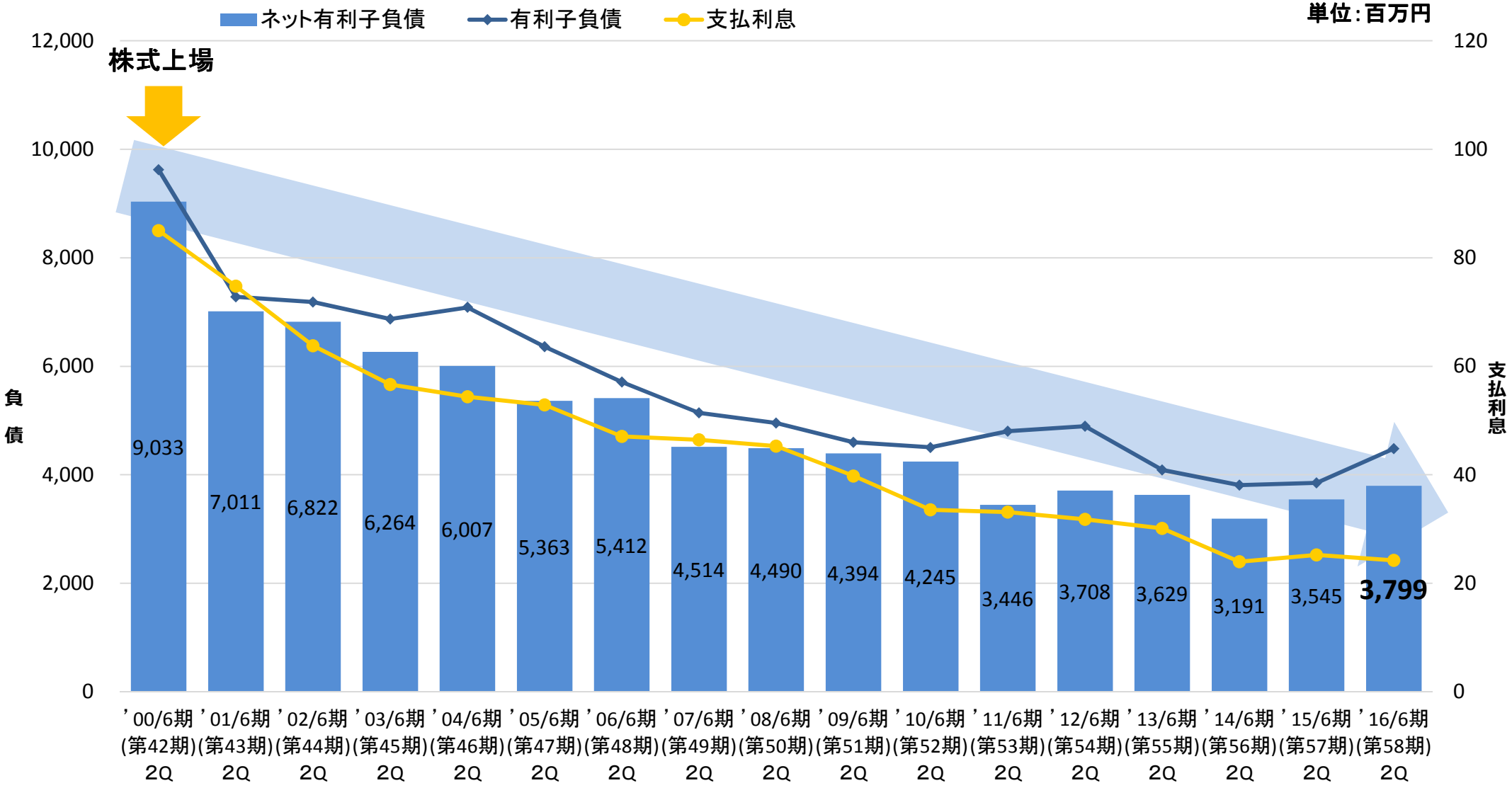
純資産の変化（424百万円）

- **利益剰余金の増加（265百万円）**
- **自己株式の減少（148百万円）**

Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

ネット有利子負債と支払利息の推移

事業投資とのバランスを勘案した有利子負債の圧縮



Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

‘16/6　第2四半期　キャッシュ・フロー計算書ハイライト

将来を見据えた事業開発投資を積極的に実施

（単位：百万円）

	’15/6期（第57期）2Q	’16/6期（第58期）2Q
期首現預金残高	264	316
営業活動CF	△1,245	△1,806
投資活動CF	△57	△193
フリー・キャッシュ・フロー	△1,303	△1,999
財務活動CF	1,345	2,367
期末現預金残高	306	683

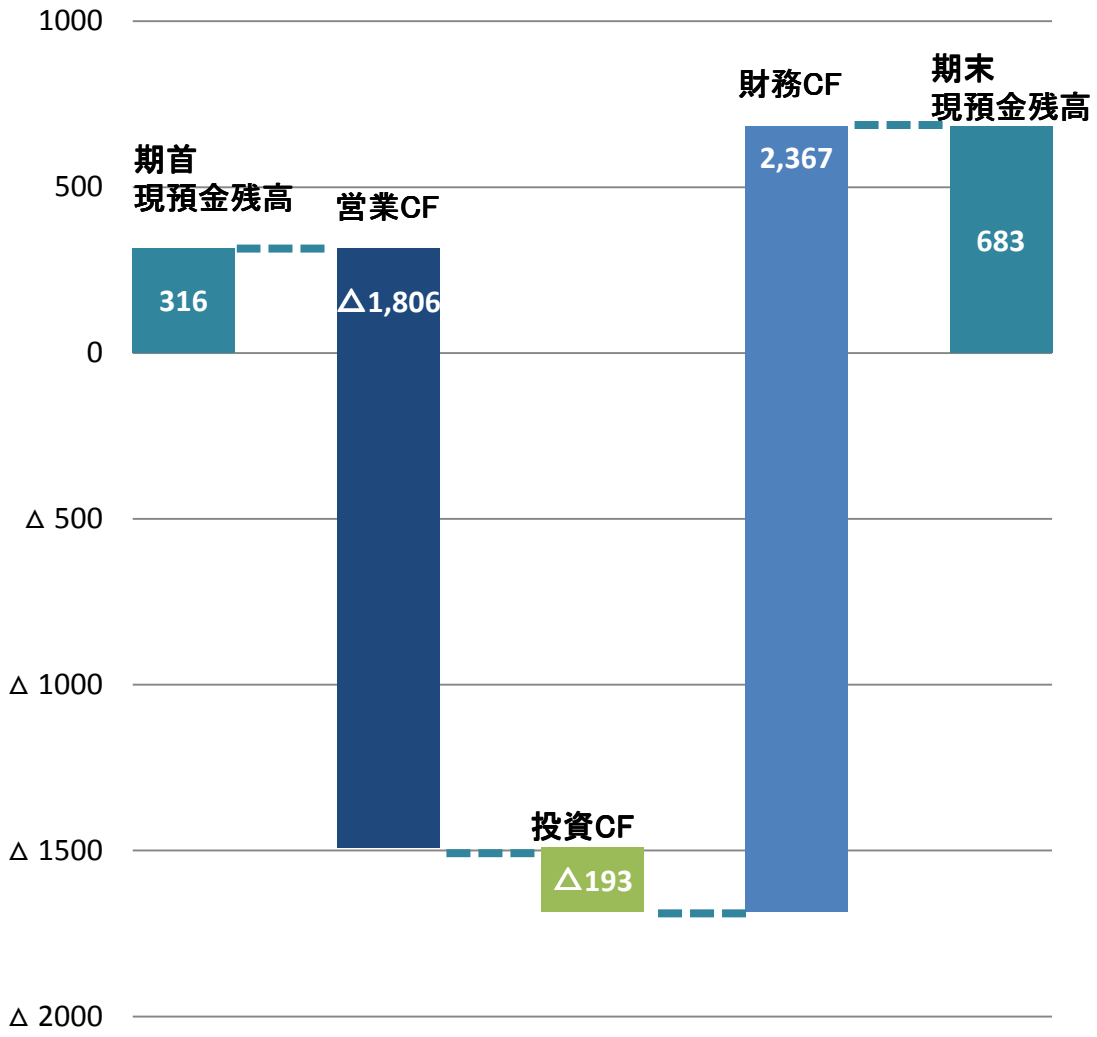
Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

‘16/6　第2四半期　キャッシュ・フローの状況

2016年6月期（第58期）2Q キャッシュ・フロー

（平成27年7月1日～平成27年12月31日）

（単位：百万円）



営業キャッシュ・フロー主要内訳

- 税引前四半期純損失　△526百万円
- 賞与引当金の増加　347百万円
- 売上債権の減少　157百万円
- たな卸資産の増加　△847 百万円
- 未払費用の減少　△473 百万円
- 法人税等の支払額　△157 百万円

投資キャッシュ・フロー主要内訳

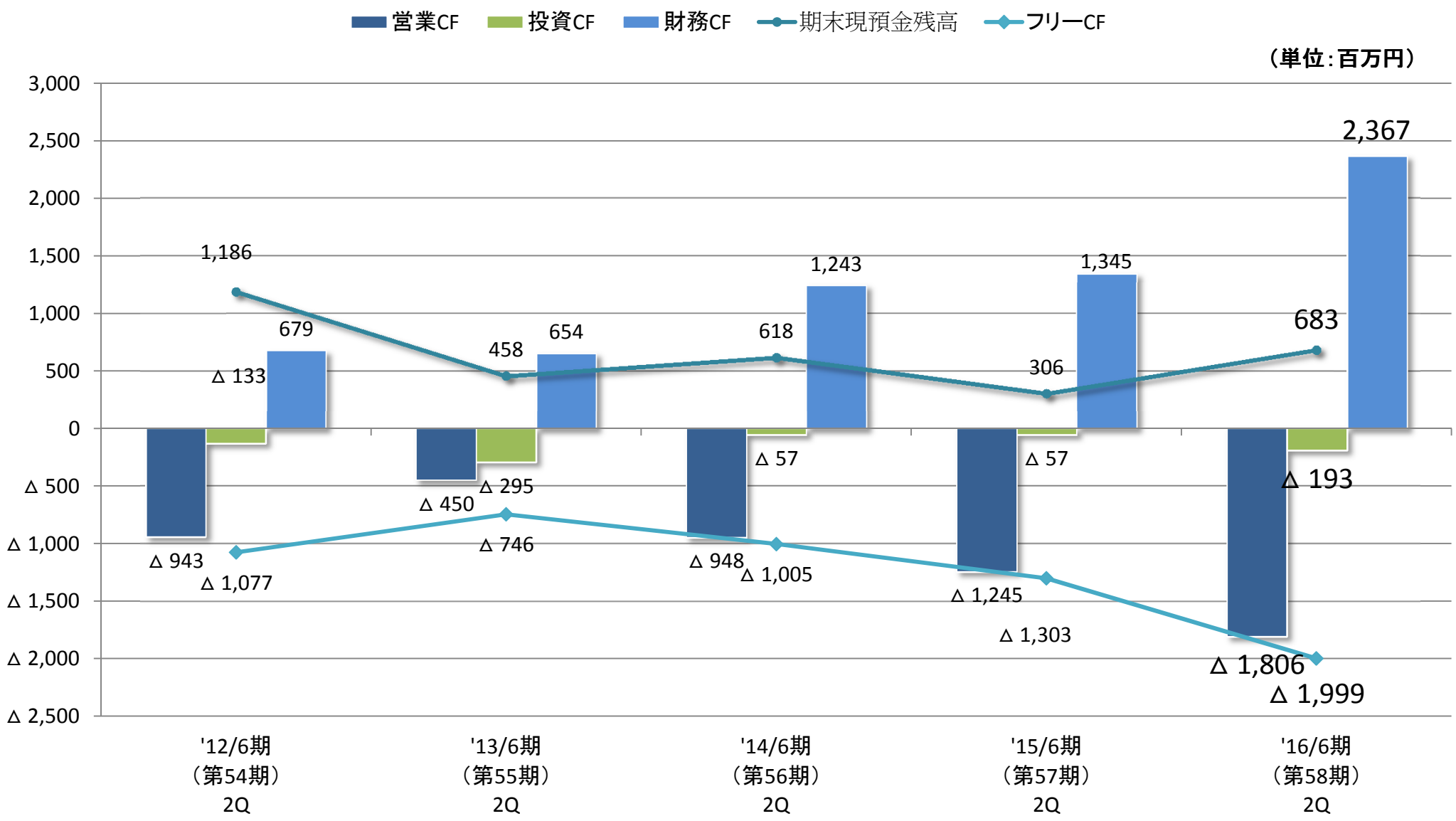
- 関係会社出資金の取得　△122百万円

財務キャッシュ・フロー主要内訳

- 短期借入金の純増　1,350百万円
- 長期借入金の純増　1,140百万円

Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

過去5年間の第2四半期キャッシュ・フローの状況



Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

2

セグメント別状況

報告セグメントの変更について（2016年6月期第1四半期より）

エンジニアリングコンサルティングとプロダクツサービスの2事業に変更

エンジニアリングコンサルティング

防災・耐震・環境評価コンサルティング
建築物の構造設計
ソフトウェア開発の要求定義・基本検討・研究試作
製造・物流系シミュレーション
マーケティングコンサルティング
リスク分析
マルチエージェントシミュレーション
交通シミュレーション　など

システムソリューション

構造設計支援システム
移動通信・モバイルネットワーク通信システム
製造業向け営業・設計支援システム
最適化・物流システム　などの開発

プロダクツサービス

建設系構造解析・耐震検討ソフト
ネットワークシミュレーションソフト
電波伝搬・電磁波解析ソフト
製造系設計者向けCAEソフト
マーケティング・意思決定支援ソフト
統計解析ソフト
画像認識ソフト
クラウドメールサービス　などの販売

→ 統合 →

エンジニアリングコンサルティング

顧客の課題を抽出し
解決策を総合して提案するため
エンジニアリングコンサルティング事業と
システムソリューション事業が
より一層密接になってきている

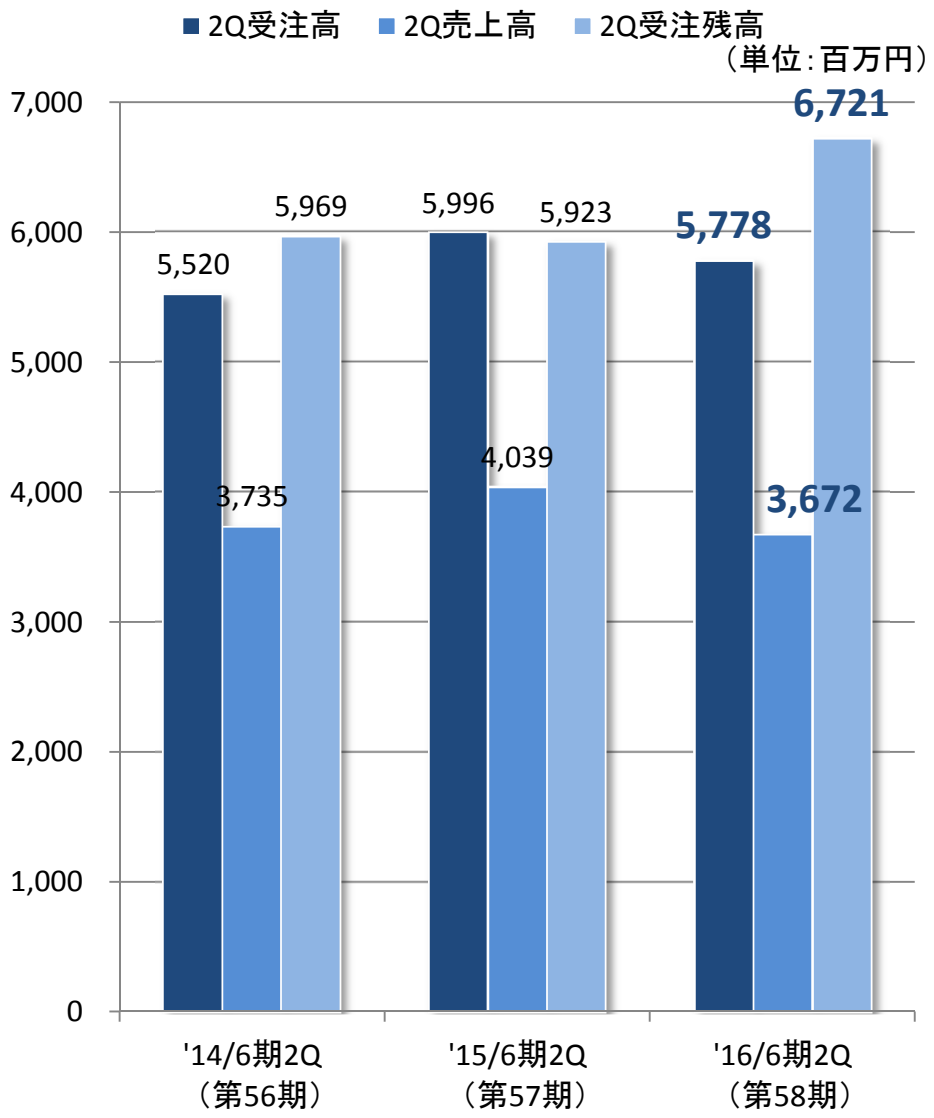
プロダクツサービス

Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

セグメント合計

（単位：百万円）

	’14/6期2Q（第56期）	’15/6期2Q（第57期）	’16/6期2Q（第58期）	対前年同期増減率
受　注　高	5,520	5,966	5,778	△3.2%
売　上　高	3,735	4,039	3,672	△9.1%
セグメント利益（利益率）	555（14.9%）	485（12.0%）	486（13.2%）	0.2%
受注残高	5,969	5,923	6,721	13.5%

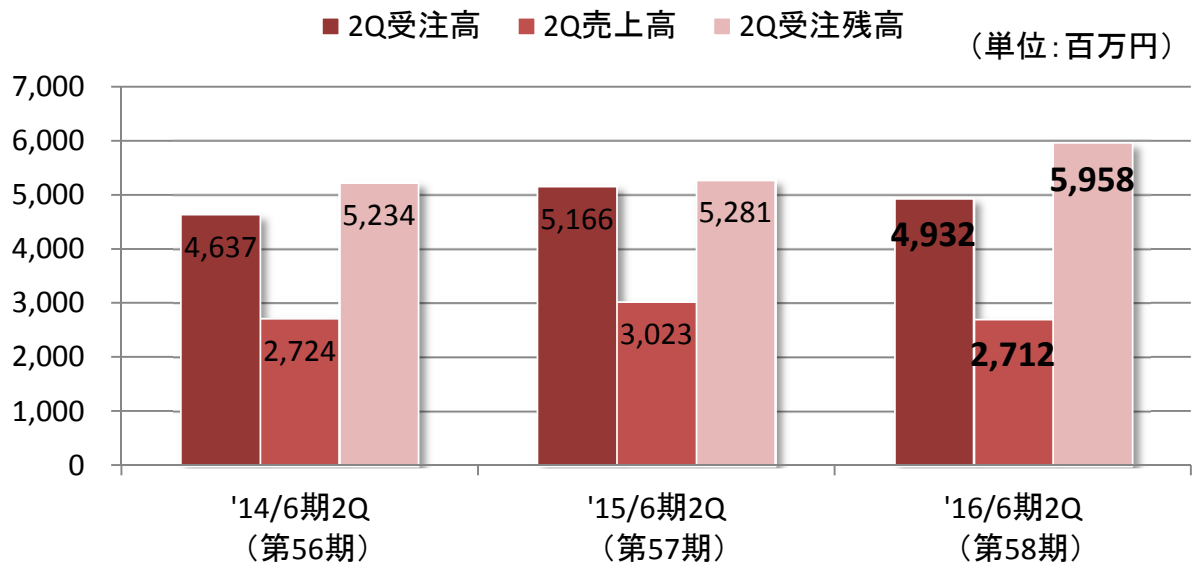


Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

①エンジニアリングコンサルティング

（単位：百万円）

	’14/6期2Q（第56期）	’15/6期2Q（第57期）	’16/6期2Q（第58期）	対前年同期増減率
受　注　高	4,637	5,166	4,932	△4.5%
売　上　高	2,724	3,024	2,712	△10.3%
セグメント利益（利益率）	401 (14.7%)	390 (12.9%)	362 (13.4%)	△7.2%
受注残高	5,234	5,281	5,958	12.8%



- ◆ 防災・耐震・環境評価コンサルティング
- ◆ 構造設計支援システム
- ◆ 建築物の構造設計
- ◆ 移動通信・モバイル・ネットワーク通信システム
- ◆ 製造業向け営業・設計支援システム
- ◆ マーケティングコンサルティング
- ◆ 最適化・物流システム

業績分析

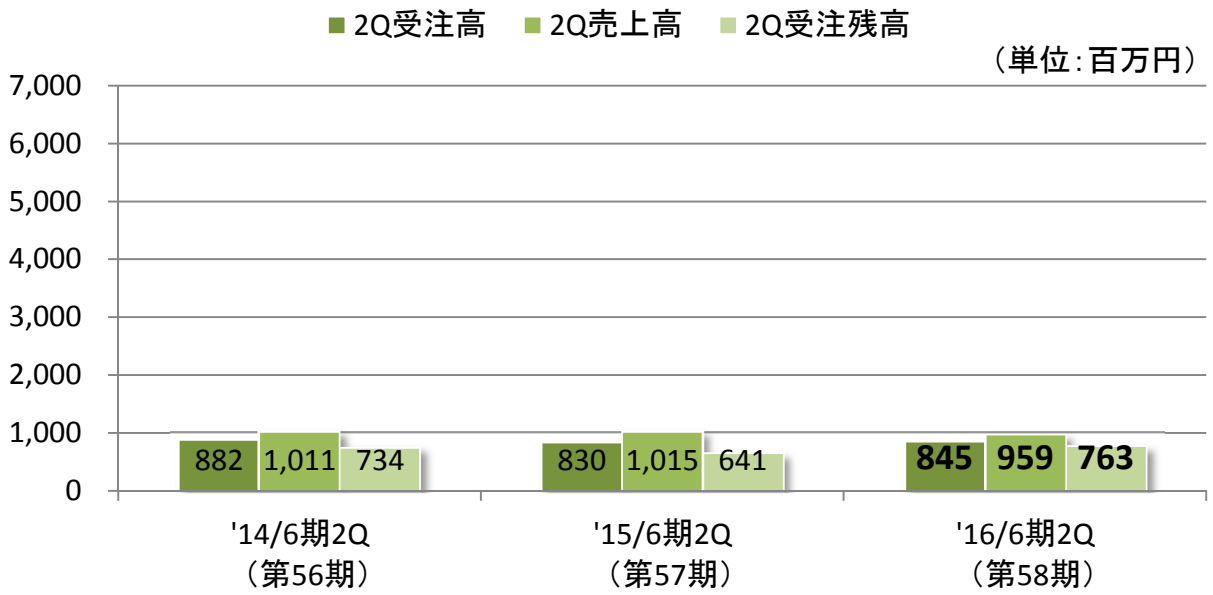
- □ 住宅業界をリードするトップ企業からの差別化に向けた投資に対応するシステム開発業務や中期的な保全を考えた耐震改修、構造設計コンサルティング業務が好調に推移
- □ 防災・減災のための解析業務、意思決定支援コンサルティング業務が堅調に推移

Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

②プロダクツサービス

（単位：百万円）

	’14/6期2Q（第56期）	’15/6期2Q（第57期）	’16/6期2Q（第58期）	対前年同期増減率
受　注　高	882	830	845	1.8%
売　上　高	1,011	1,015	959	△5.5%
セグメント利益（利益率）	153 (15.2%)	95 (9.4%)	123 (12.9%)	29.6%
受注残高	734	641	763	18.9%



- 建設系構造解析・耐震検討ソフト
- ネットワークシミュレーションソフト
- 電波伝搬・電磁波解析ソフト
- 製造系設計者向けCAEソフト
- マーケティング・意思決定支援ソフト
- 統計解析ソフト
- 画像認識ソフト
- クラウドメールサービス
- 教育トレーニング

業績分析

- 統合型粒子法流体解析ソフト、設計者向けCAEソフト、製造業向けリスクマネジメントソリューション、クラウドベースのメール配信サービスなどの販売が堅調に推移

Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

3

2016年6月期見通し

2016年6月期（第58期）計画

（単位：百万円）

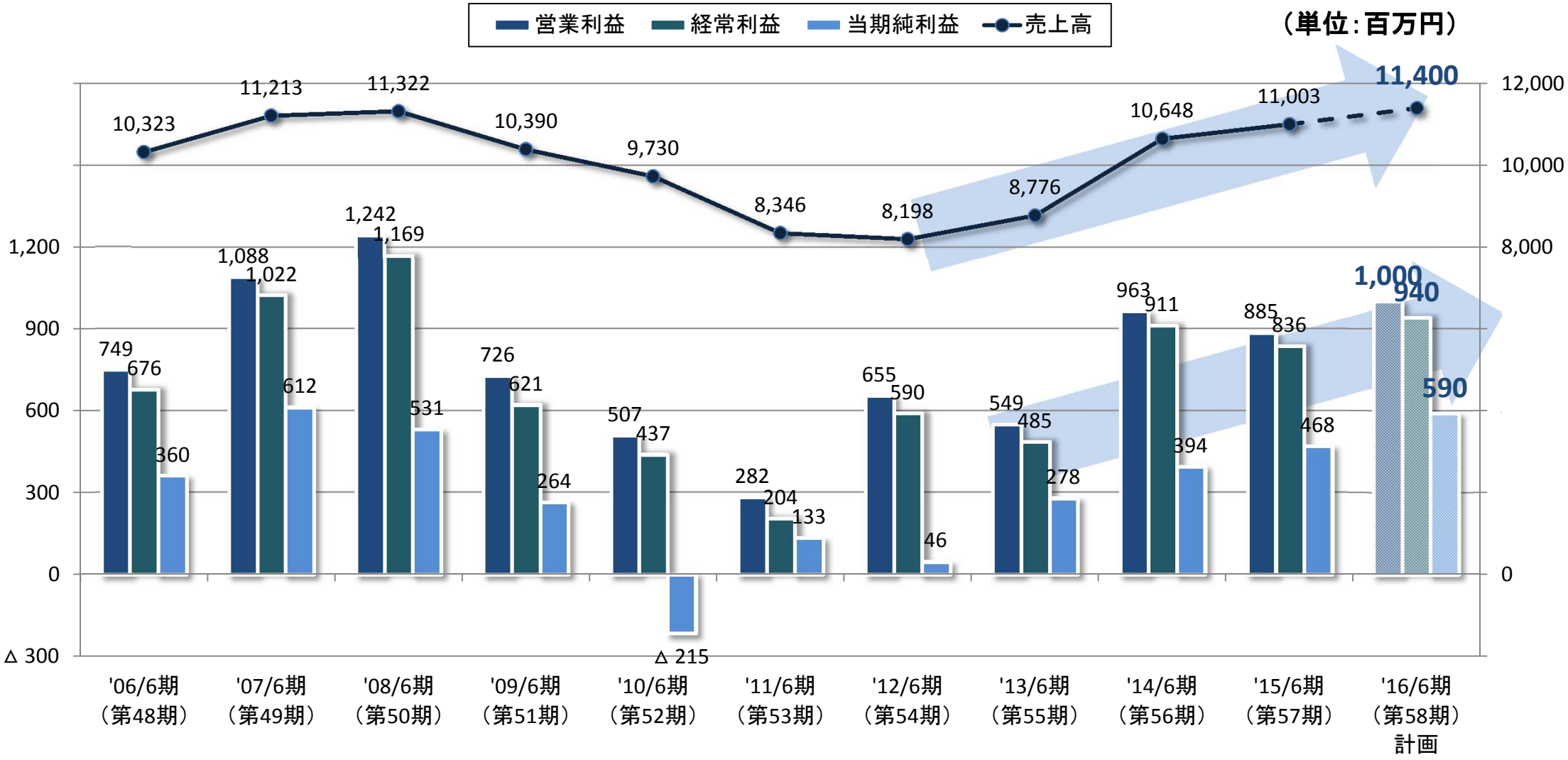
	’15/6期（第57期）	’16/6期計画（第58期）	対前期増減額	対前期増減率
売上高	11,003	11,400	397	3.6%
営業利益	885	1,000	115	12.9%
経常利益	836	940	104	12.4%
当期純利益	468	590	122	25.9%

配当金	@40円/株	中間：15円
		期末：30円（予定）
		@45円/株

Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

過去の業績推移と業績予想

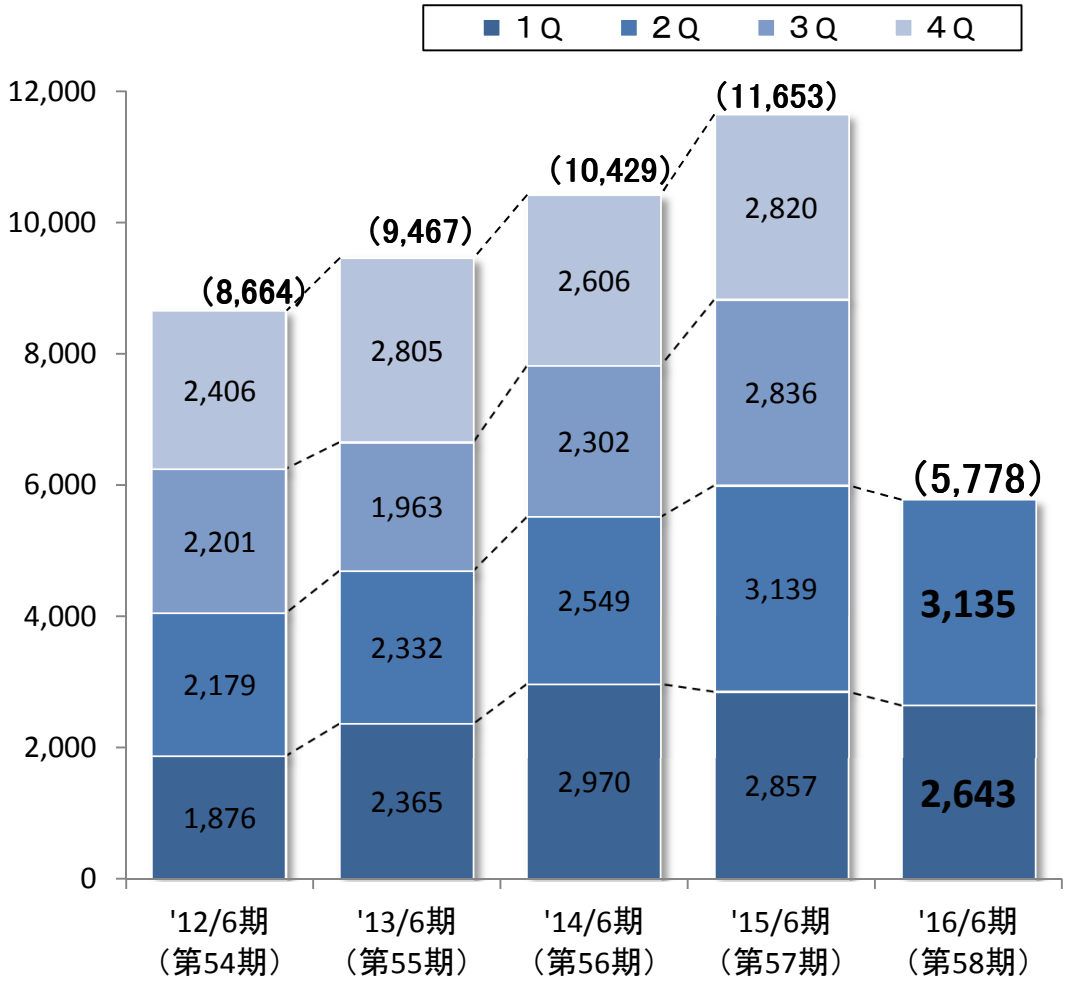
4期連続の増収増益達成へ



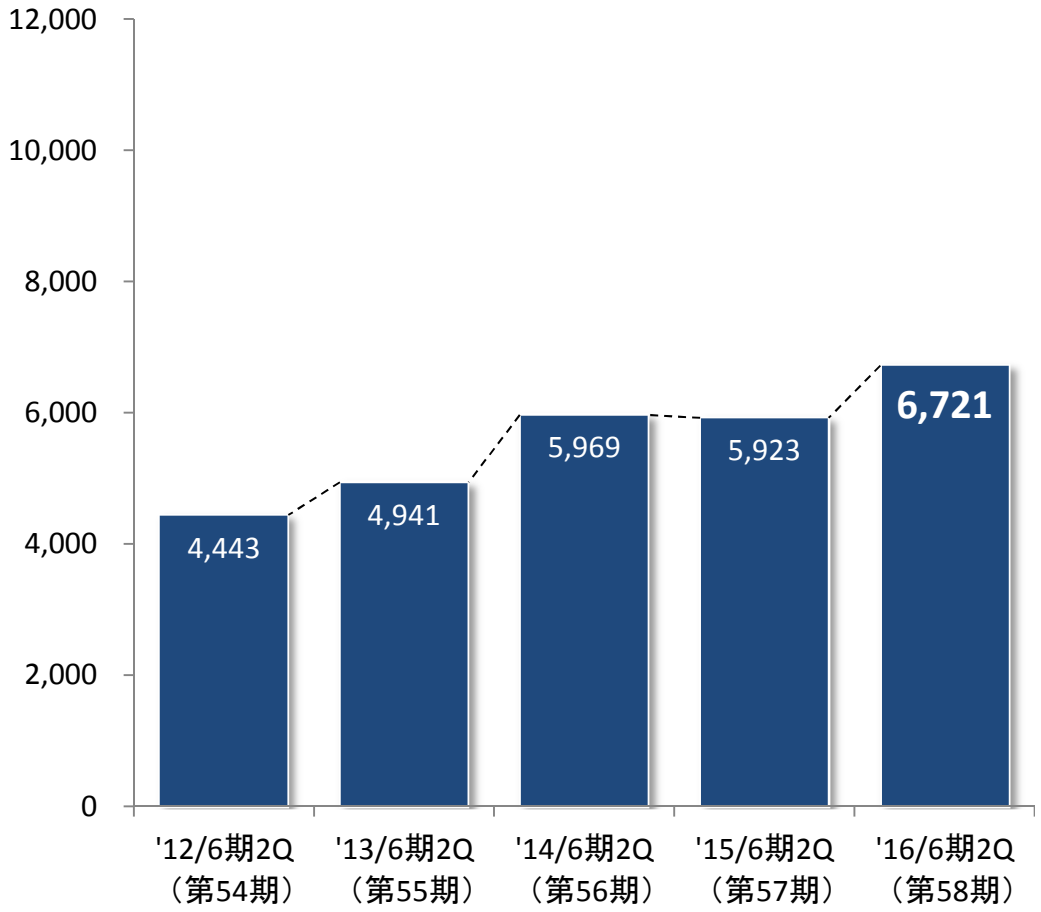
Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

受注高と受注残高の推移

豊富な受注残高の大半が今期中に売上高として計上予定



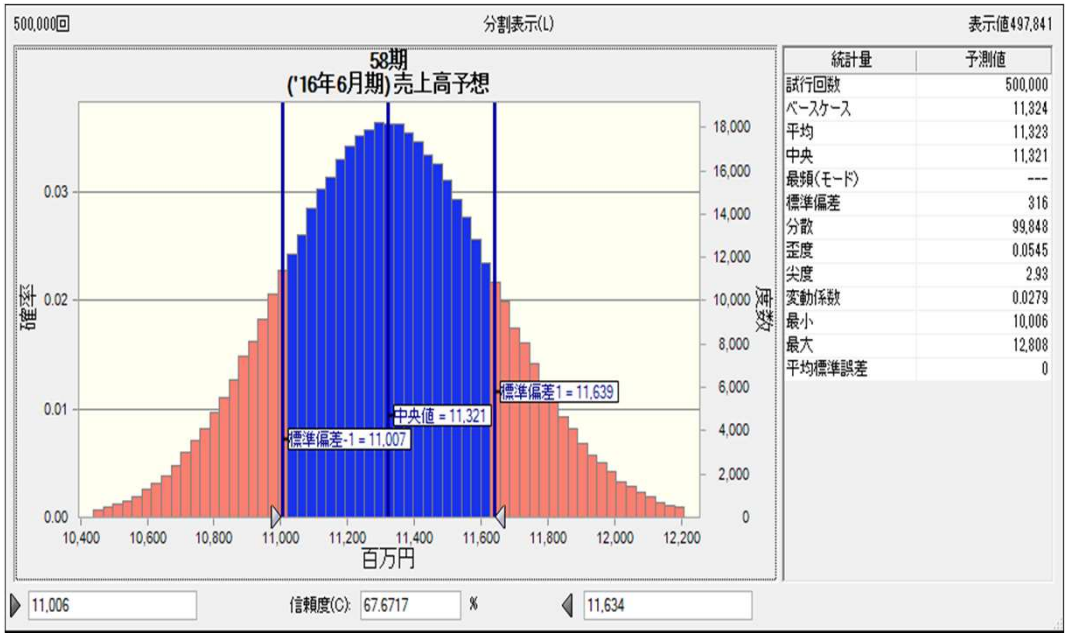
受注高（単位：百万円）



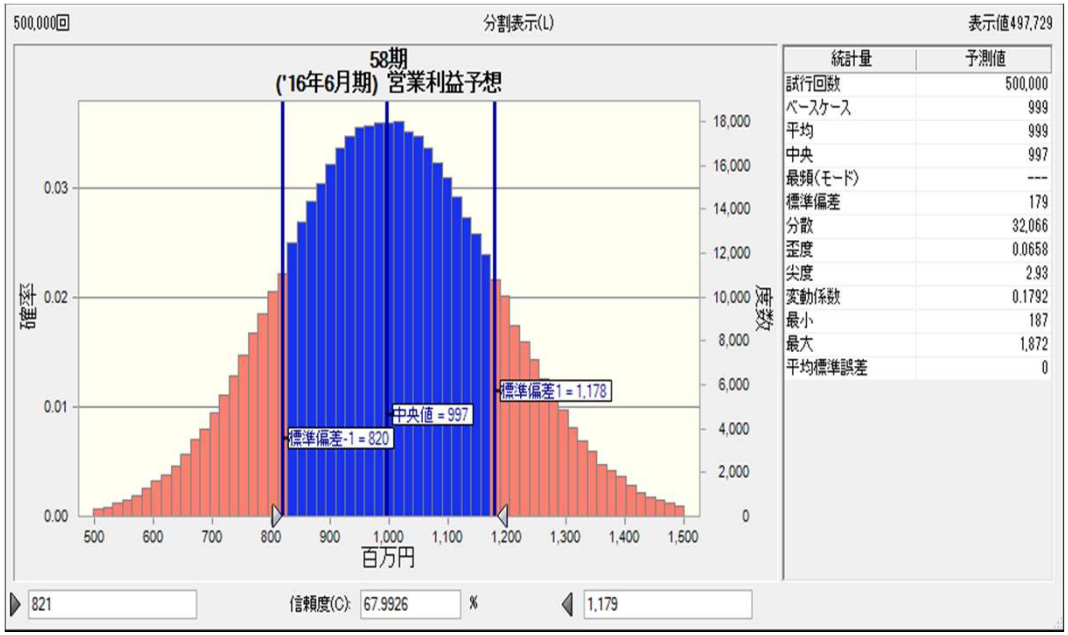
受注残高（単位：百万円）

Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

通期の業績見通し
「Crystal Ball」を使ったシミュレーション



統計量	予測値
試行回数	500,000
ベースケース	11,324
平均	11,323
中央	11,321
最頻(モード)	---
標準偏差	316
分散	99,848
歪度	0.0545
尖度	2.93
変動係数	0.0279
最小	10,006
最大	12,808
平均標準誤差	0



統計量	予測値
試行回数	500,000
ベースケース	999
平均	999
中央	997
最頻(モード)	---
標準偏差	179
分散	32,066
歪度	0.0658
尖度	2.93
変動係数	0.1792
最小	187
最大	1,872
平均標準誤差	0

過去3年間の実績データを元に
モデルを作成しシミュレーションを実施

売上高中央値:11,321百万円
営業利益中央値:997百万円

リスク分析ソフトウェア
「Crystal Ball」

- モンテカルロ・シミュレーションをエクセル上で再現可能な定量的リスク分析ソフトウェア
- 勘や経験だけに頼らない高品質な意思決定を行うための数理的解析が可能
- グラフィカルなレポートで説得力のある意思決定を支援

Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

今後も継続する重点施策

企業として持続可能な発展を続け総付加価値を向上させるために

提供するサービスや製品の品質確保	□ 過去の失敗を教訓に品質に妥協しない組織風土醸成
人物の育成	□ 技術者、マネジャー、経営層それぞれが全社視点で思考し実践
新規事業開発投資と 海外への「Design&Engineering」展開	□ 海外からの単なる技術展開に留まらない付加価値向上 □ 日本での経験を活かした海外展開
知財戦略	□ 成果物の知的財産確保 □ 責任範囲の明確化

Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

当社が目標とする経営指標

- 事業本来の収益力を表す営業利益の重視
  ＋
  人材を成長の源泉と考え、優秀な人材を確保するための
  人件費およびフリンジベネフィット

  ＝総付加価値

  総付加価値を向上させることで企業として持続可能な発展を続ける
- 事業投資とのバランスを勘案した期末ネット有利子負債の削減
- 高い利益率と有効な投資によるROEの向上
- 中長期保有株主に対する継続的安定配当政策の推進

Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

当社をめぐるステークホルダーへの対応

Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

中間配当の実施について

- 利益水準に関わらず株主への利益還元の機会を充実させること及び株価の平準化を目的に、今回中間配当を実施

- 当社定款には、取締役会の決議により中間配当を実施できる旨規定
  中間配当基準日は毎年12月31日

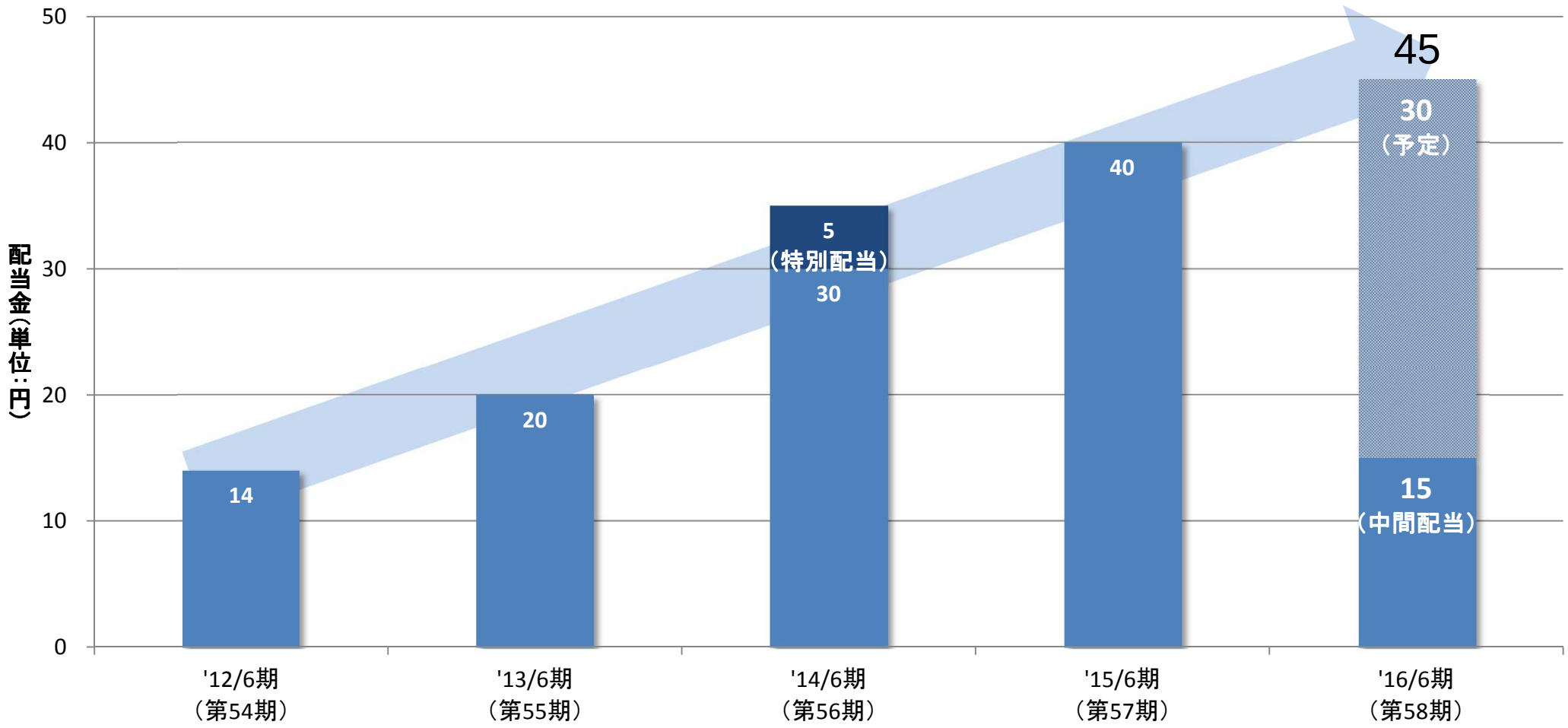
- 今回通期業績予想見通しは修正せず、１株当たりの期末配当金は30円に修正

	決定額
基準日	平成27年12月31日
1株当たり配当金	15円
配当金の総額	69百万円
効力発生日	平成28年3月10日
配当原資	利益剰余金

Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

一株当たり配当金の計画

5期連続増配を目指す



※第56期は創立55周年特別配当を実施
第58期は中間配当を実施

Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

「株式給付信託（従業員持株会処分型）」の導入に関して

- 平成27年11月13日開催の取締役会にて「株式給付信託（従業員持株会処分型）」の導入を決議

  - 目的
    従業員の福利厚生の増進及び当社の企業価値向上に係るインセンティブの付与
  - 委託者：当社
  - 受託者：みずほ信託銀行　→再信託受託者：資産管理サービス信託銀行
  - 受益者：受益者適格要件を充足する持株会会員
  - 信託設定日：平成28年3月10日（予定）
  - 信託の期間：平成28年3月10日～平成30年5月10日

- 当社が現在保有する自己株式1,504,528株（平成27年12月31日現在）のうち500,000株（655,000,000円）を資産管理サービス信託銀行に一括処分

Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

4 中長期的視野に立った経営方針

Innovating for a ***Wise Future***

- 工学知をベースにした有益な技術を
  社会に普及させることで
  より賢慮にみちた未来社会を
  ステークホルダーの皆様と共に創出していきたい

- 社会を創造するプロセスを言い表すため
  Innovatingを使用

Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

当社が目指すありたい姿　ミッション

Professional
Design & Engineering
Firm

学問知と経験知による知の循環から
生み出される、工学的手法に立脚した
ユニークな解決策（ソリューション）を
提供することによって高付加価値を
実現する組織

Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

3つの行動指針
（Professional Design & Engineering Firmを実現するため）

限られたリソースの中で優先順位を付けたマネジメント

❶ 閉じこもらない「 *Collaboration* 」

社内、社外のパートナーとの提携！

❷ PDCAを糧にする「 *Feedback* 」

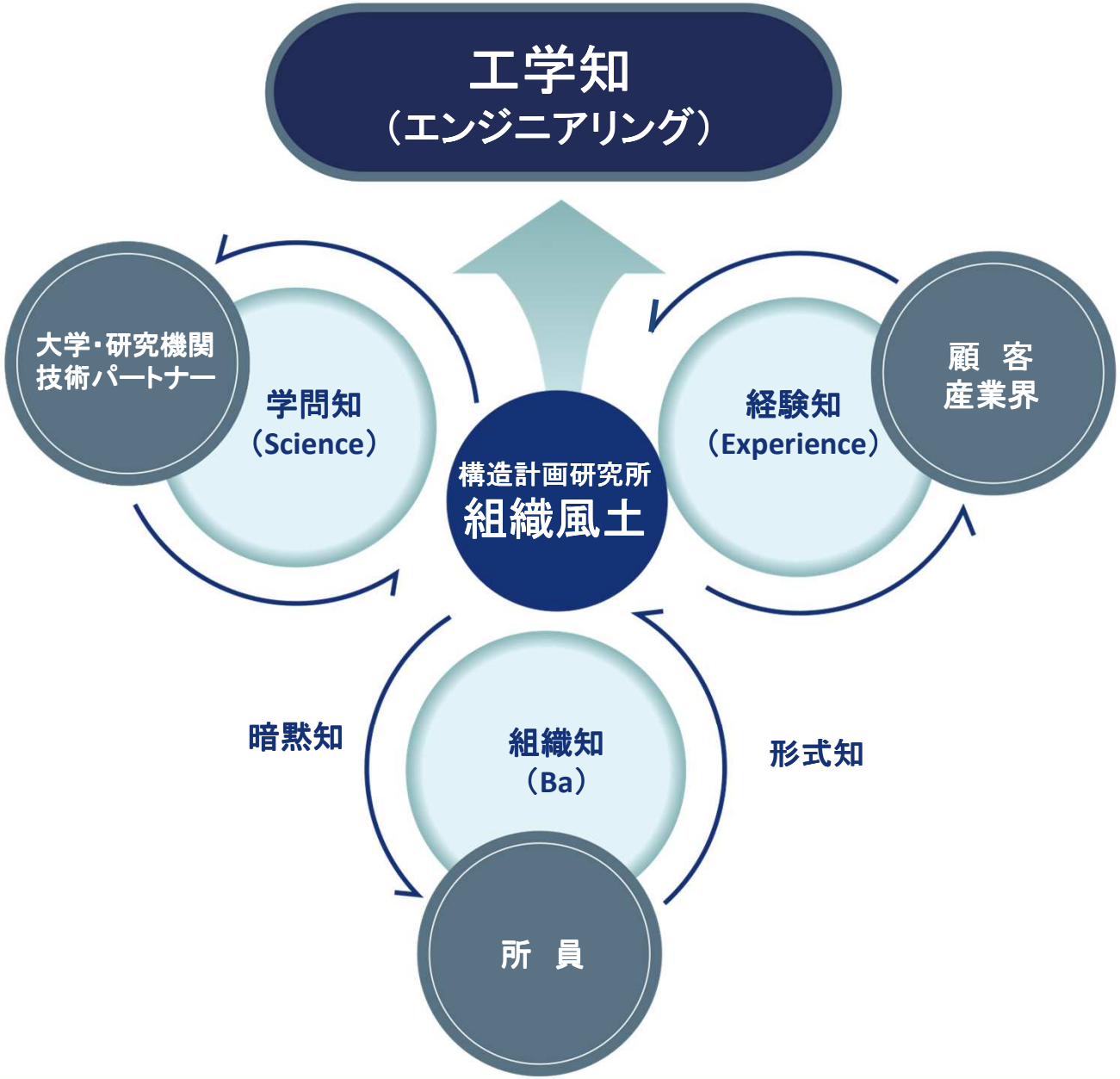
失敗経験も組織の力に活かす！

❸ 情報技術の進化に負けない「 *Speed* 」

組織メンバーがスピードのある行動を！

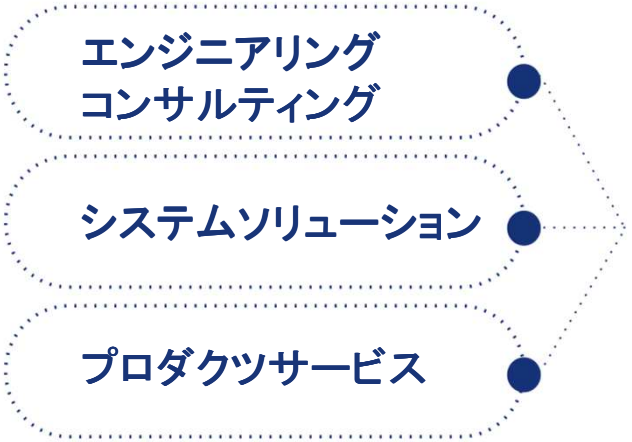
Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

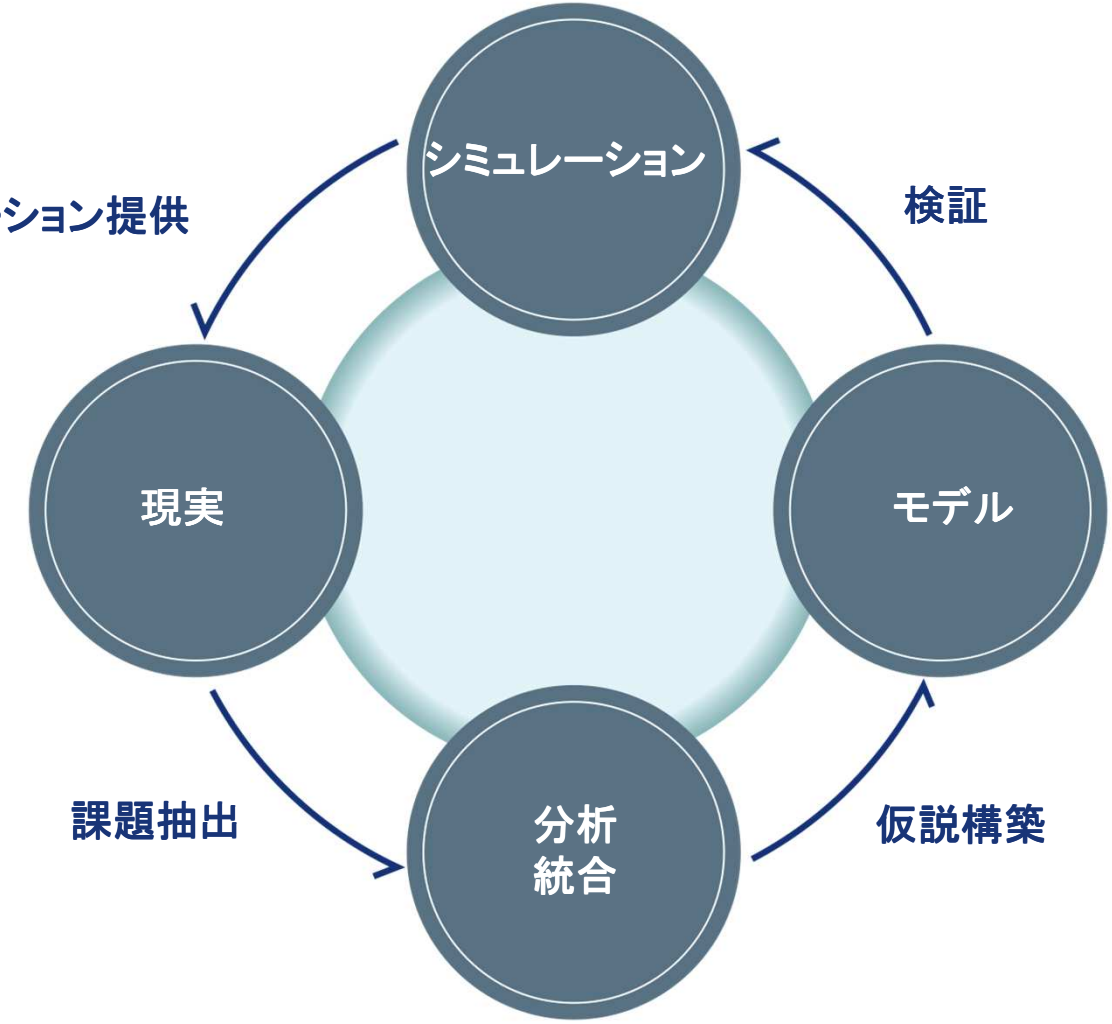
当社のビジョン　知の構造図



Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

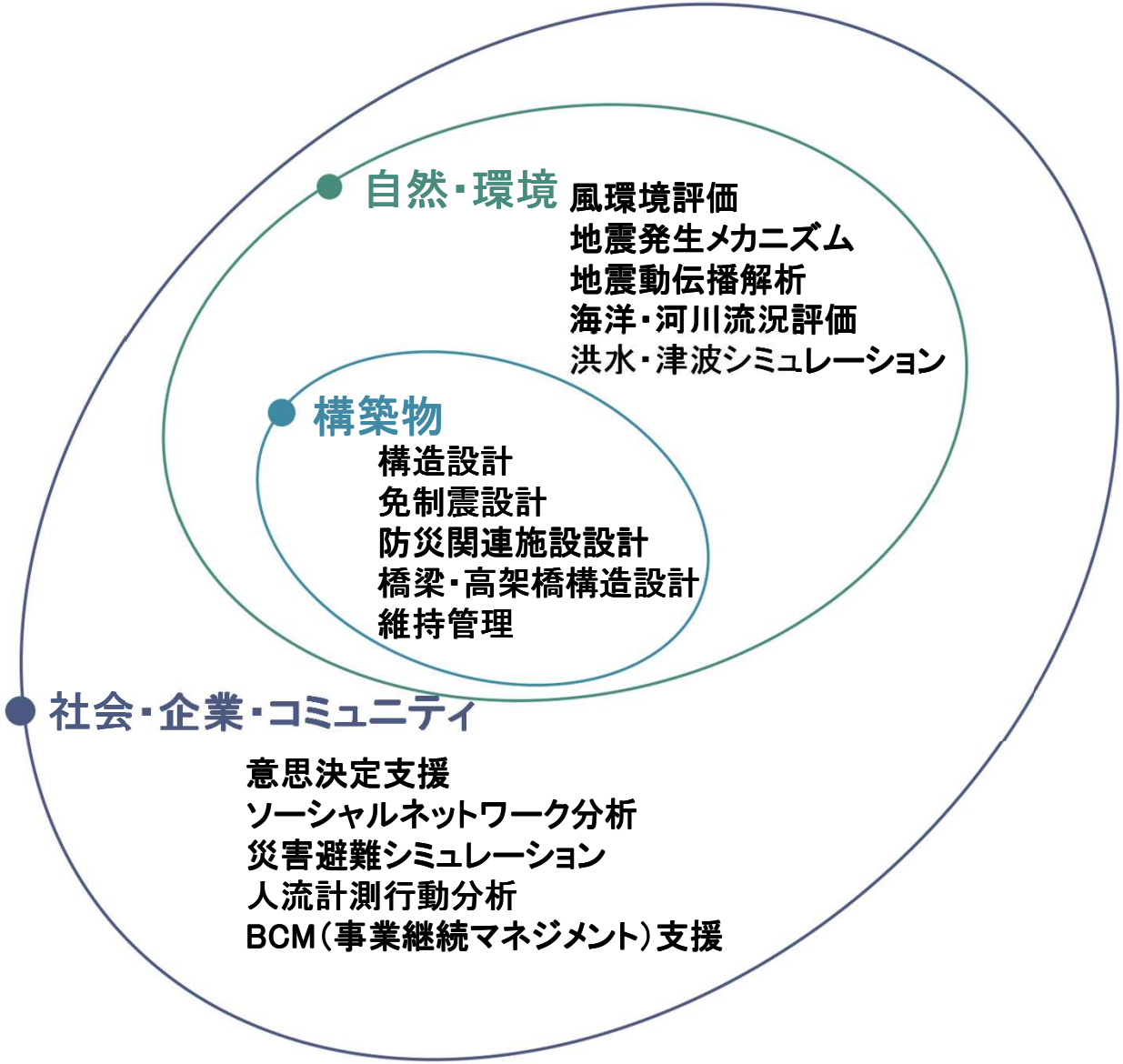
工学的アプローチの一例
（モデリング＆シミュレーション）





Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

事業領域の拡大



Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

付加価値成長のシナリオ

1. 「事業開発投資」による付加価値成長

2. 「所員の成長」による付加価値成長

3. 「所員(仲間)の増加」による付加価値成長

×

×

※当社では営業利益に人件費とフリンジベネフィットを加えた額を総付加価値と定義し、各ステークホルダーへの分配可能原資を表しています。

Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

付加価値を向上させるための5つの「I」

Intelligent

知を対価とするビジネスと社会貢献

Independent

何にもとらわれない自由な発想のできる場の設定

Interdisciplinary

多様な学問分野の組み合わせ、融合

Innovative

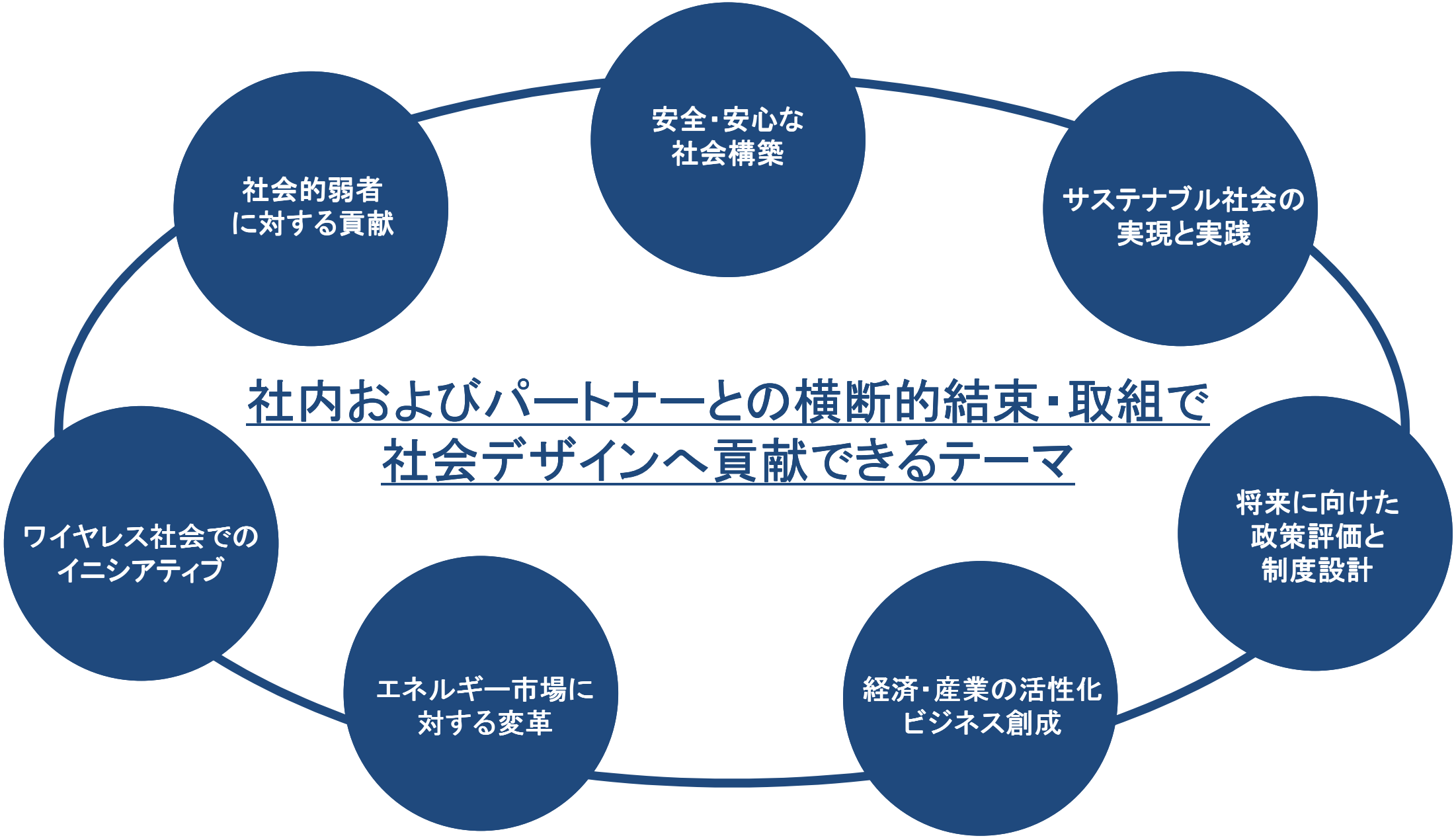
常に新しい事に対して挑戦する気概　風土　DNA

International

異なる知を持つ海外パートナーとの連携

Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

新規事業開発投資　①新しい事業展開7つの領域



Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

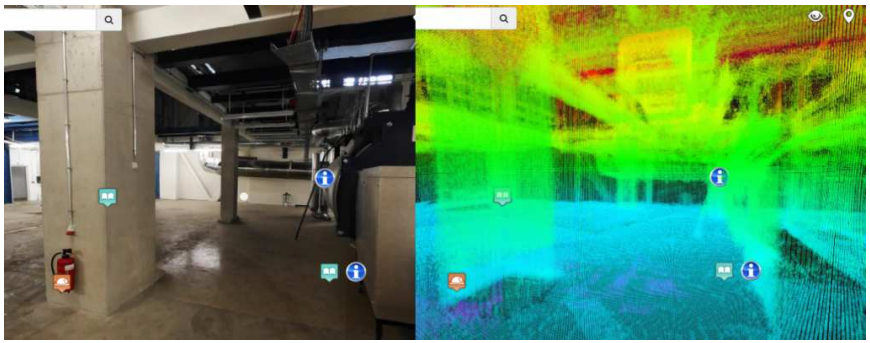
新規事業開発投資　②ドイツNavVis社との提携

提携の概要

- 提携企業：NavVis GmbH（本社独　ミュンヘン）
- 業務提携開始：2015年10月
- 提携内容：
  インドアマッピング＆ナビゲーションプラットフォーム「NavVis」の日本市場における販売及びソリューション展開

次世代屋内デジタル化プラットフォームNavVis

- 背景
  屋外　位置情報（GPS）と地理情報（地図）に基づくサービスが普及
  屋内　経済活動の80～90%を占めるにも関わらず実用レベルのサービスが実現されていない
  ➡ NavVis社　実用性の高い屋内 3D マッピング及びナビゲーションプラットフォームの開発に成功
- 適用例
  設備管理、リテール業界、建設現場管理　など



当社の展開する
維持管理、リテール向けマーケティング支援、構造設計ビジネスなどとのシナジー
日本市場に合わせた付加サービスの展開により幅広い社会貢献が可能に

Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

当社のこれまでの事業開発投資　①交通シミュレーション

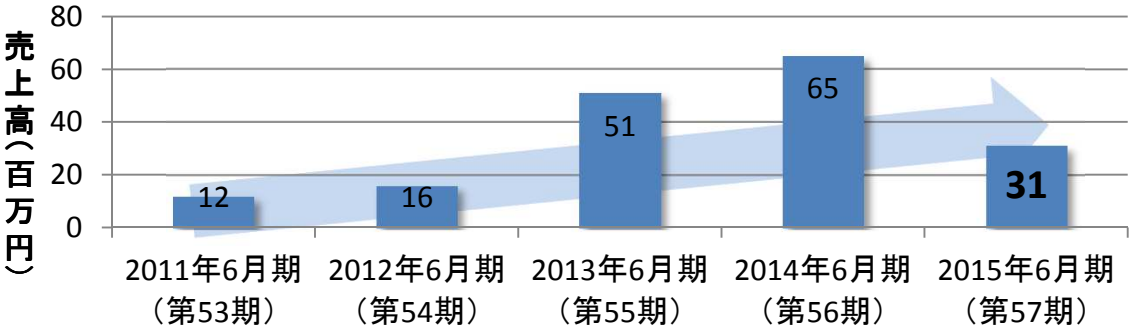
PTV Visionシリーズ

- 独PTV AG社開発
  ヒューマンファクターを取り入れた交通シミュレーション
- 大規模な都市開発・交通計画から、交差点の交通流検証まで
  - ドバイ新都市交通計画
  - 北京オリンピックパークエリア交通需要予測　など

当社が従来より展開するソリューションと組み合わせて展開

- 被災地復興再開発に向けた新たな都市交通計画検討
- 災害時の広域避難計画
- 新モビリティ導入時の交通影響の検証　　など

- 2012年2月の提携以降
  事業開発部にてビジネスを深耕
- 2015年8月
  事業軌道化後に現業部門に移管



Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

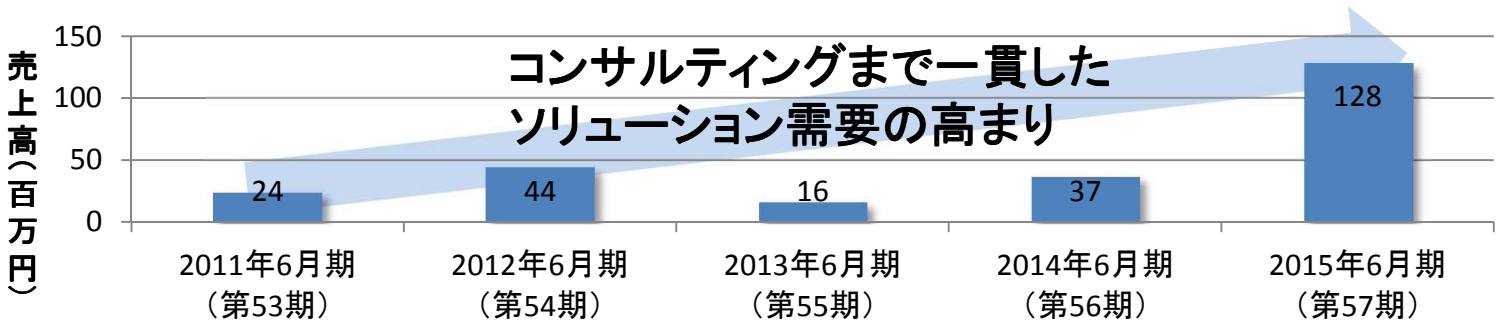
当社のこれまでの事業開発投資　②人流計測コンサルティング

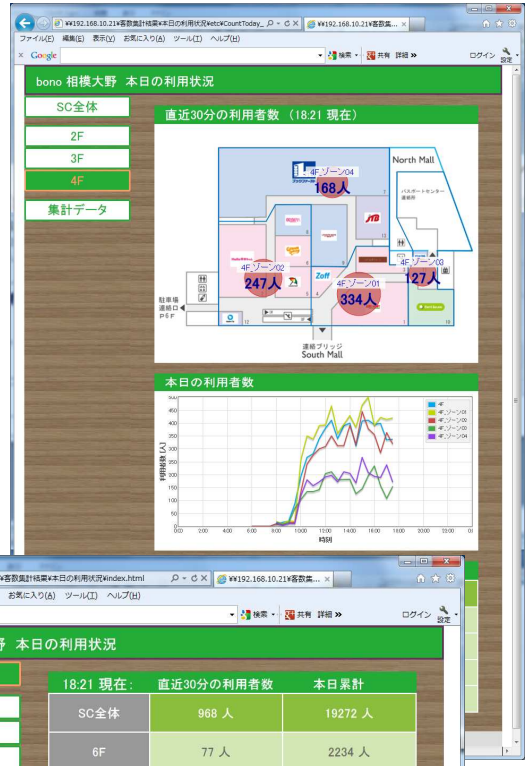
SiteViewシリーズ

- 独Vitracom AG社開発
  - ビデオ映像を用いた移動体のリアルタイム検出・計測システム
    - ✓ 防犯システムの自動監視
    - ✓ 人流計測　　など
  - 長期的な時系列データを元に相関関係分析を行うことも可能

当社のデータ解析技術と組み合わせ
人流計測コンサルティングを展開

大手通信キャリアの実店舗などにて導入
POSデータを統合することで買上率による
店舗環境の最適化を支援





Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

当社のこれまでの事業開発投資　③SendGrid社との提携

SendGrid

- 米SendGrid,Inc社開発
  クラウドベースのメール配信サービス
- 企業の販促活動、マーケティング、CRMへの活用などを支援
  - 到達性やセキュリティの向上、迷惑メール対策
    →初期投資不要でクラウドのメリットを享受
  - 全世界で配信されているメール（迷惑メールを除く）の1%がSendGridを通して配信

2013年12月より当社にて
日本市場のニーズに合わせたカスタマイズの提供など
日本向けサービスを開始

顧客の運用コスト削減・省力化
メールのビジネス利活用を強力に支援

- **提携以降順調な売り上げの伸び**
  第56期：0.9百万円（下期サービス開始）
  第57期：16百万円

Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

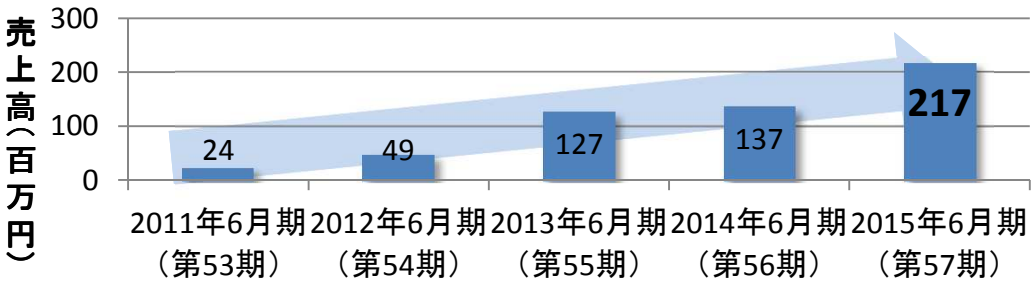
当社のこれまでの事業開発投資
④プロメテック・ソフトウェア社との提携

プロメテック・ソフトウェア株式会社

- 設立：2004年10月
- 資本金：201百万円
- 東京大学発のベンチャー企業
  流体シミュレーション理論「粒子法」に基づくCAE ソリューショ「Particleworks」を提供
  - ✓ 世界初の粒子法（MPS法）を採用した初の商用流体解析ソフトウェア
  - ✓ 従来手法（メッシュ法）で解けない物理現象を解決　砕波、撹拌流れ、粉体流れ　など

- 2012年10月に資本・業務提携
  - ✓ 株式の36.7%を取得
  - ✓ 人事交流を含む広範な業務提携　社外取締役2名の参画
- 当社が従来より展開する防災関連ビジネスへの応用
- 新規顧客の獲得
  - ✓ 株式会社資生堂様　口紅の不良率10分の1以下に低減
  - ✓ 再生医療やバイオ分野などでも活用が進む

- 大学発ベンチャー表彰受賞（2014年）
- 事業活動の順調な推移

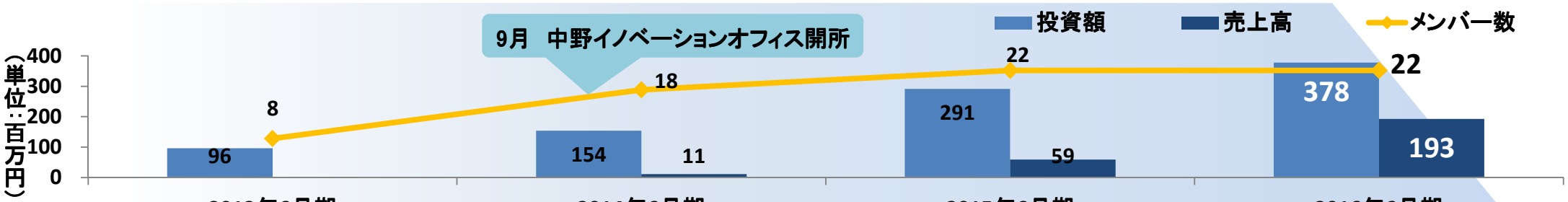


Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

当社のこれまでの事業開発投資　⑤事業開発部の取り組み

事業開発の中核となる組織として中長期的に持続的な付加価値の成長に貢献

◆事業開発各テーマの推進　◆新規テーマの創出　◆イノベーション文化の醸成
◆新しいビジネスの形態への取り組み　◆事業開発・投資マネジメント



- 交通シミュレーション
- クラウドビジネス（SendGrid）
- 地域創生ビジネス

- 交通シミュレーション
- クラウドビジネス
- AOR（構造物の最適化）
- ソフトウェア無線

- クラウドビジネス
- マーケティング戦略
- AOR
- ソフトウェア無線
- 空間通信デザイン（NavVis）

- クラウドビジネス
- マーケティング戦略
- AOR
- ソフトウェア無線
- 空間通信デザイン
- EoD（Energy on Demand）
- 粒子法ビジネス

□ 収益化したビジネスは現業部門へ移管：交通シミュレーション
□ オープンイノベーションの加速：ATRベンチャーファンド、HHI（独）との連携

Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

ベンチャーファンドへの投資Ⅰ

けいはんな学研都市　ATRベンチャーNVCC投資事業有限責任組合

出資の概要

- 投資対象：ATR研究シーズや成果に関連するベンチャー企業
- 出資約束金額：2億円
- ファンドの期間：2024年6月30日まで
- 出資者：当社を含む複数社

ATR(株式会社 国際電気通信基礎技術研究所)

- ✓ 技術交流に向けた会合の定期的実施
- ✓ ATR関連企業・ファンド投資先との技術検討会（人位置計測、ドローン関連、脳科学など）
- ✓ ATR展示会への参加
- ✓ ファンド人脈によるイベント実現

ATR 石黒 浩 氏による
KKE Vision 2015 OSAKA基調講演

今後の展望

事業の芽の発掘 ATR技術+当社内既存技術⇒高付加価値ビジネスの創出

- 当社マーケティング力を活かした有望シーズのプロジェクト化・事業化
- ファンド関連ベンチャー企業への人材派遣による 経営層の人材育成
- エグジットした場合のキャピタルゲイン

ファンド出資先の
株式会社 テレノイド計画

Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

ベンチャーファンドへの投資Ⅱ

モバイル・インターネットキャピタル株式会社
イノベーション4号投資事業有限責任組合出資

出資の概要

- 投資対象：次世代情報通信に係る技術・サービスの分野、IT活用により成長が期待できる周辺分野　ex)IoT、AI、ヘルスケア、セキュリティ
- 出資約束金額：2億円
- ファンドの期間：2026年12月まで

- ✓ 数多くのベンチャー企業（年間500件程度）の取り組み状況について情報共有
- ✓ 投資家向けイベントMIC　Dayへ参加し、様々なベンチャー企業のプレゼンテーション機会に触れる

今後の展望

当社の事業育成・拡大を目指す

- 事業成功のコツや育成方法などの知見を獲得し、当社の更なる事業拡大に寄与
- ベンチャー企業と当社の事業を連携させることで、より高い付加価値を産み出す
- ベンチャー企業の評価実施や経営者派遣などにより経営層の人材育成

Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

所員の成長　①社内表彰

服部賞

産学官連携や社会貢献活動で
活躍した所員へ贈られる

■第33回受賞者

建築構造工学部

正月　俊行

■受賞対象名

博士（工学）学位取得
『長周期地震動による超高層建物での
家具の地震時挙動と室内被害把握』および知名度向上

■受賞理由

建物や構造物ばかりでなく、家具などの人命により大きく関わる挙動の事例を、数多くの場で示し問題提起。社会的意義も大きく、弊社の安全・安心な社会構築への取り組みに対する認知に大きく貢献

プロジェクト表彰

優秀な社内プロジェクトを表彰する

社会に貢献し他の模範となる業務
26件の表彰対象

Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

所員の成長　②社外表彰

- 2015年7月8日
  第29回独創性を拓く
  先端技術大賞　企業・産学部門　特別賞
  表彰元：フジサンケイビジネスアイ
  受賞者：事業開発部
  西浦　升人、大内　夏子、大和田　文子

「独創性を拓く 先端技術大賞」の企業・産学部門において特別賞を受賞しました

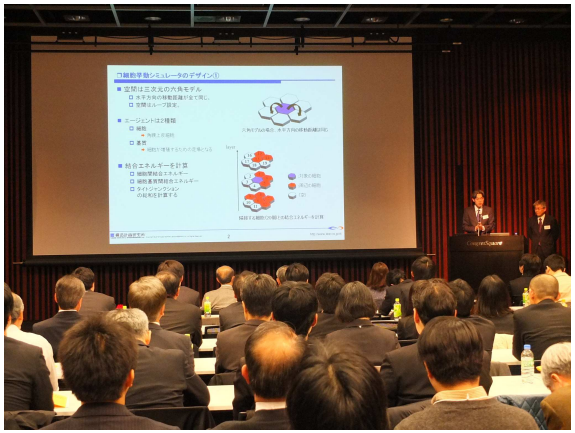
- 2015年11月5日
  Best Paper Award
  表彰元：AsiaSim2015
  受賞者：防災・環境部　三橋　祐太

AsiaSim2015に投稿した論文が優秀論文賞として表彰されました

Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

所員の成長　③社外活動

「大学・研究機関と実業界をブリッジする」という経営理念のもと産学連携を深める社外活動を全社的に推奨



- 社外団体との共同研究活動　27団体
- 社外団体での講師活動　17団体10名
- 社外団体での委員会・研究会等の活動　102団体61名
- 国内外大学への留学　9名
- 社外発表論文および出版図書　54件

（2015年1月～12月）

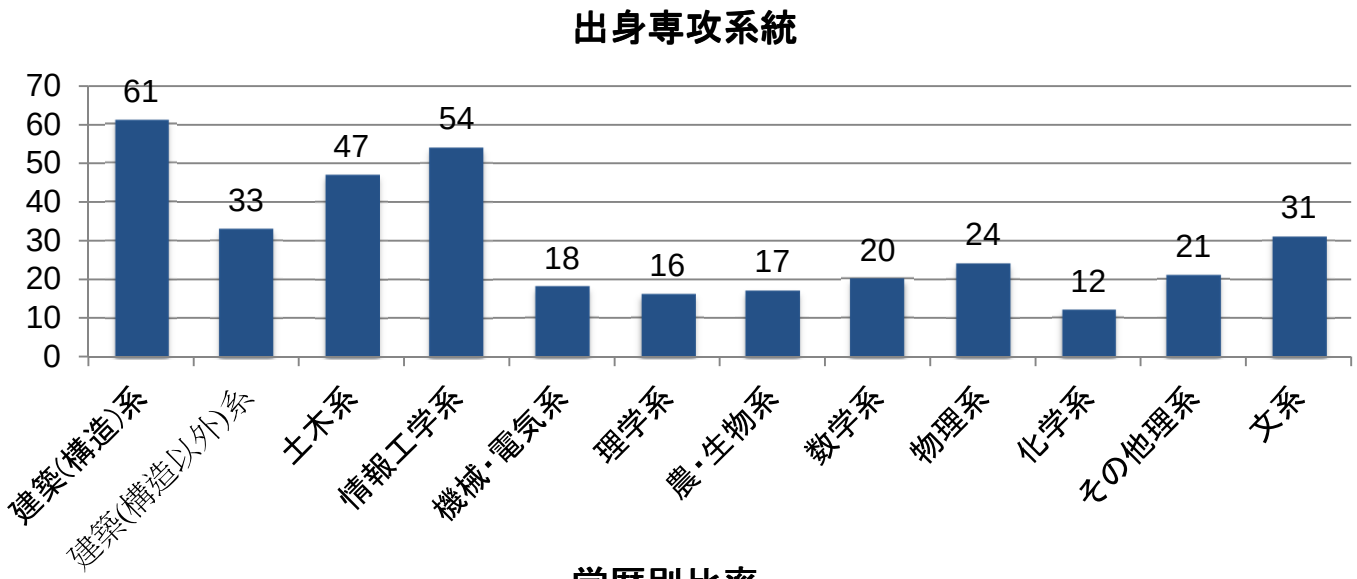
Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

所員の増加　①採用実績

02年～16年 入社(予定)合計	354 名

出身校上位 ('02/4月～'16/4月入社予定)	人数
東京工業大学	31
東京大学	23
京都大学	23
九州大学	21
早稲田大学	18
筑波大学	13
東京理科大学	13
熊本大学	12
大阪大学	9
慶應義塾大学	8
日本大学	8
名古屋大学	7
首都大学東京(※1)	7
東京農工大学	6
東北大学	5
横浜国立大学	5
中央大学	5
埼玉大学	5
法政大学	5

赤文字は16年入社予定
※1 東京都立大学、東京都立科学技術大学 合計
※2 全て内定者を含む



Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

所員の増加　②シンガポールでの採用活動

活動内容

- ASEAN Career Fair 2016への参加
  - ASEAN各国のトップ大学の学生が約700人集まる合同企業説明会、選考会
- 海外大学における採用活動の実施
  - シンガポール・タイにおいて計4大学を訪問し企業説明会、選考会を実施
  - 企業説明会には約100名の学生が参加

ASEAN Career Fair 2016

活動目的

- 組織の多様性を強化していくために、様々な文化圏・国籍の学生が集う採用チャネルを確保する
- 今後のグローバル展開を睨み、外国籍所員の人員増強を計る（2016年2月 27名、4.7%）

海外大学における採用活動

2016年度 採用実績（2015年12月入社 4名、2016年4月入社予定 1名）

- 国籍
  - シンガポール、インド、中国、インドネシア、マレーシア
- 大学
  - シンガポール国立大学、シンガポール経営大学、南洋理工大学、バンドン工科大学、マレーシア科学大学

Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

当社の知財戦略

「Professional Design & Engineering Firm 」として
知的財産を軸にした高付加価値化

施策方向

- 暗黙知の形式知化などを促進する、知的･情報資産の管理活用施策の展開
- ビジネス初期段階からの知的財産を意識したスキーム策定、契約、交渉
- 過去の成功･失敗体験を含めた実績経験を社内で共有、活用する文化の推進
- 保有知財をベースとした、パートナーとのWin-Winの関係構築
- 責任範囲の明確化

（参考情報）

2016年1月末現在の保有特許件数	54件
2016年1月末現在の特許出願中発明件数	27件

2015年度 特許資産規模ランキング 新興市場における情報通信分野企業　第4位
（株式会社パテント･リザルトより引用）

研究開発、事業戦略と一体化して、ビジネスモデルと新技術の創造を促す

Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

KKE Vision 2015開催のご報告

開催目的

- ✓ 当社と大学・研究機関、ビジネスパートナーとが工学知を共有する場
- ✓ 当社最大のマーケティングイベント
- ✓ 講演を通して「共に」未来社会を考える場

東京

- 開催日：2015年10月29日（木）
- 開催場所：ヒルトン東京
- 申込者：約1,000名
- 基調講演：「最先端数理モデル学に基づく数理知の統合とその社会への応用」
- 講師：東京大学 生産技術研究所　教授
  最先端数理モデル連携研究センター　センター長　合原 一幸 氏

大阪

- 開催日： 2015年11月20日（金）
- 開催場所：コングレコンベンションセンター
- 申込者：約600名
- 基調講演：「人間型ロボットと未来社会」
- 講師：大阪大学大学院　基礎工学研究科　システム創成専攻　教授　石黒 浩 氏

Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

お問い合わせ先

本日はお忙しい中お越しいただき
誠にありがとうございました

今後とも何卒よろしくお願い致します

【お問い合せ先】
株式会社構造計画研究所
広報・IR室（担当：小山、松本）
Ｔ　Ｅ　Ｌ ： ０３－５３４２－１０４０
Ｆ　Ａ　Ｘ ： ０３－５３４２－１０４２
Ｅ－ＭＡＩＬ ： ｉｒ＠ｋｋｅ．ｃｏ．ｊｐ
Ｈ．Ｐ． ： http://www.kke.co.jp

Copyright © 2016 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.